

病理部

第5学年 臨床実習要綱

1. オリエンテーション

集合場所・時間 病理部事務室（中央診療棟3階）
午前10時

内 容 病理診断学の概略を説明し、実習スケジュールを紹介する。

2. 実習内容

目標 組織診、細胞診、病理解剖の3つからなる病理診断学の基礎的知識を得て、病理診断業務について理解を深める。

- (1) 病理診断学講義…全身諸臓器の様々な疾患について組織診、細胞診の臨床実地に果たす役割を理解する。免疫組織化学、遺伝子学的解析などの補助的診断法について知識を得る。
- (2) 学外講師による小児疾患、腎疾患、国試対策、胃疾患の講義。
- (3) Pathology Quiz…教育的症例、典型的症例を鏡検して、病理診断を下す。
- (4) 手術症例実習…手術症例を担当し、自ら病理診断報告書を作成する。
- (5) 剖検実習（適宜）…病理解剖に参加し、臨床情報を得て肉眼解剖診断を下す過程を理解する。
- (6) 院外実習…病理部の関連教育施設で病理診断の実地診療を体験し、専門性を持つ指導教員から講義を受ける。がん情報ネットワーク・メディカルカンファレンスに参加して討論する。

3. 評価

担当教員による実習態度、知識、実技のOSCE評価およびレポートによる。

臨床実習時間割

| | 9:15 | 10:00 | 12:00 | 13:30 | 14:30 | 16:00 |
|---|-------------------|-----------|-------|----------------|----------------|-------|
| 月 | | オリエンテーション | | 切り出し見学 | Pathology Quiz | |
| 火 | Pathology Quiz | | | 学外講師による講義 | | |
| 水 | 手術症例実習 院外実習 | | | 手術症例実習 | | |
| 木 | 学外講師による講義 院外実習 | | | 手術症例実習 院外実習 | | |
| 金 | 学外講師による講義 | | | 評価とディスカッション | | |